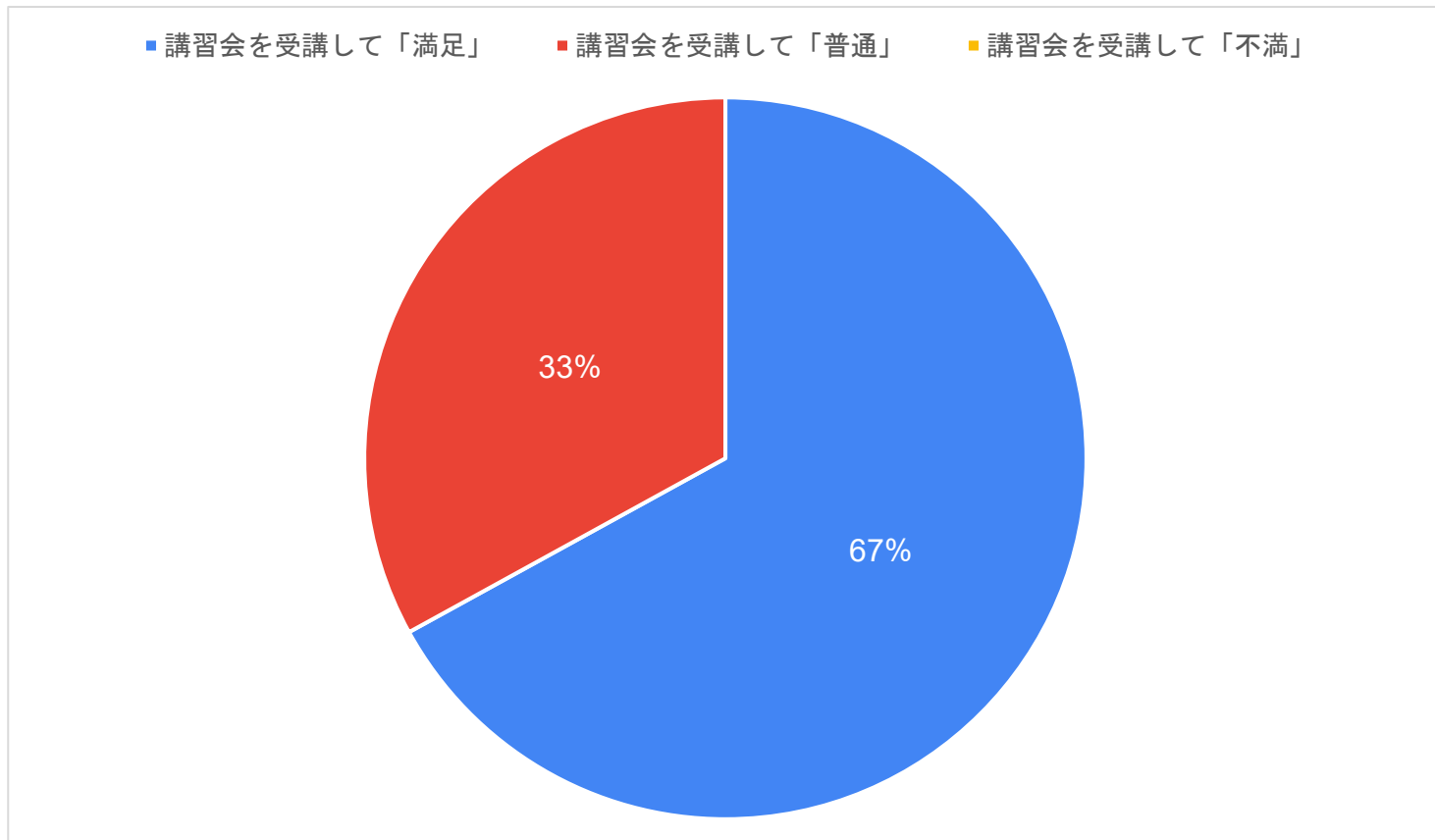
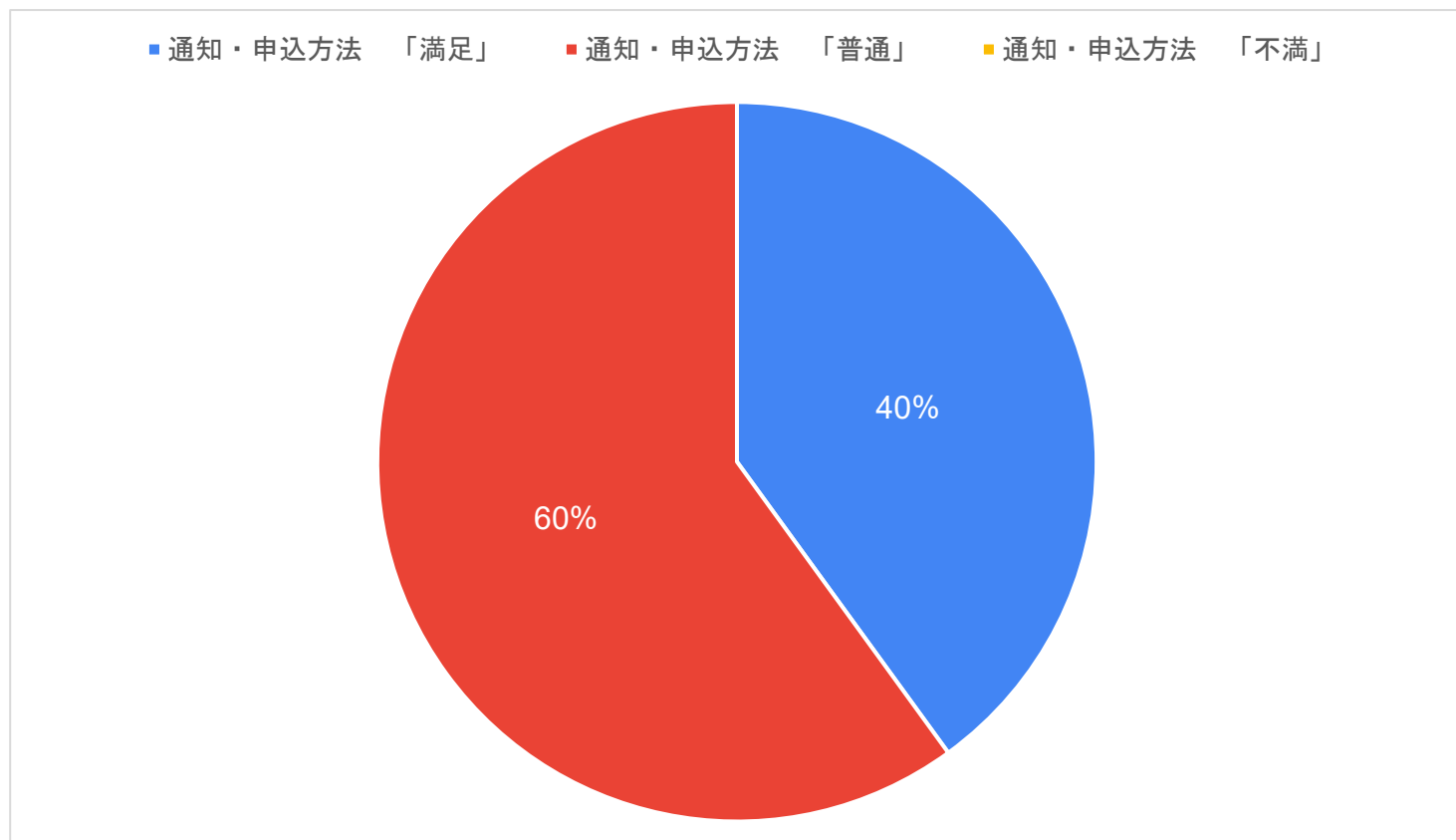


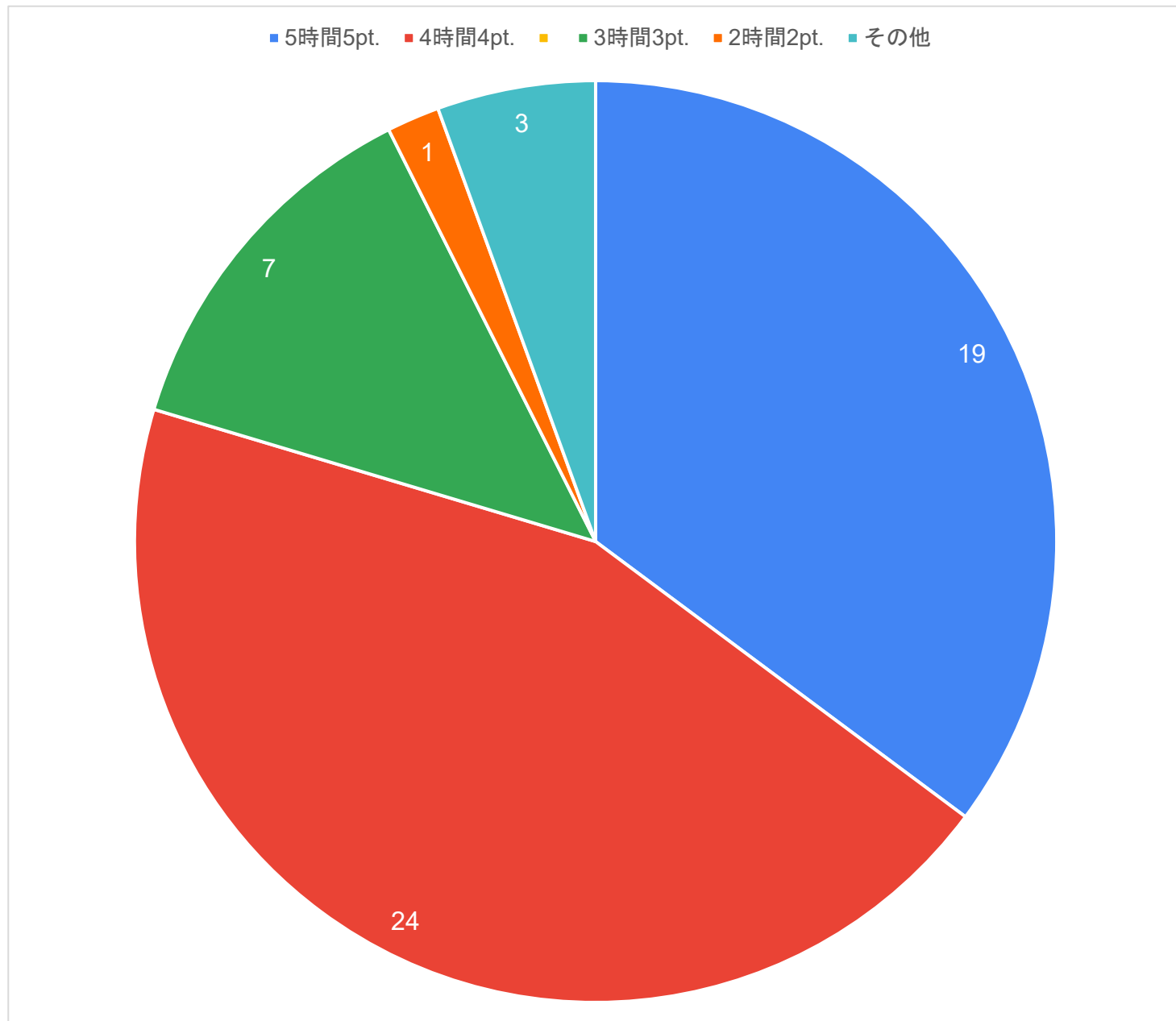
1) 本日の講習会を受講していかがでしたか。



2) 本日の講習会に係わる通知や申込方法はいかがでしたか。



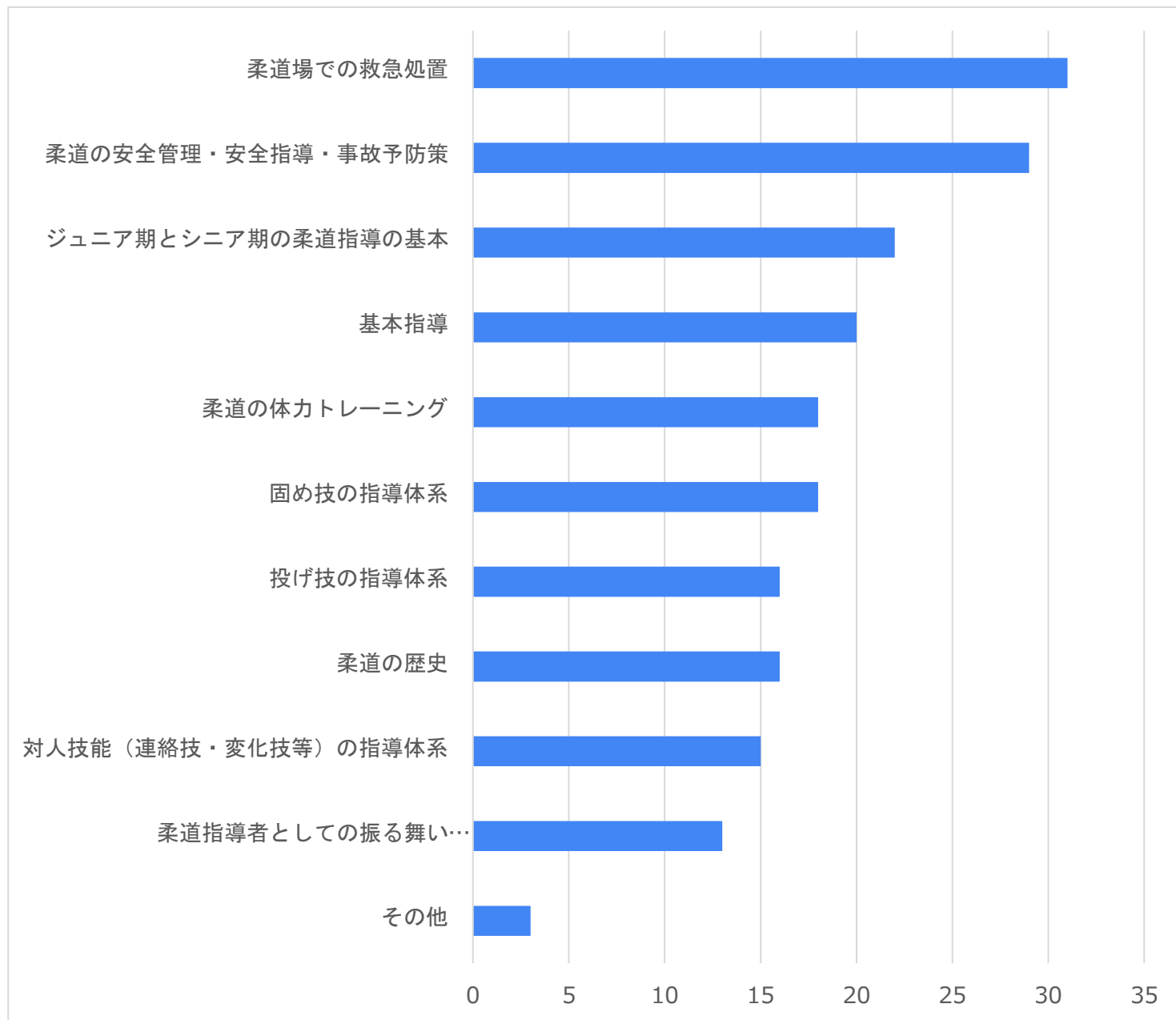
3) 望ましいものをお選びください（受講時間とポイント数）



その他

- ・ 2時間2ポイントの受講も可能にして欲しい
- ・ 更新期間までに受講カリキュラムから選択しポイントを取得していく形も良いと考えました
- ・ 不足しているポイント数分を受講できるよう検討して欲しい

4) 聴講したいカリキュラムをお選びください（複数回答可）



その他

- ・事故発生後の全柔連がとる対応など
- ・障害者への指導について教えていただいた
- ・最新の研究情報を発信してもらいたい

5) 本日の講習会の感想・今後の講習会への要望をお聞かせください

講習会をやるのなら机、椅子を用意して欲しい。高齢者や怪我人は辛い。このやり方では講習に集中出来ない。今後もこの指導方法については参考になった。
大変勉強になりました
忘れていたことを、思い出す講習として、大変勉強になりました。
とても勉強になりました。講習の中でグループになって対談することがありましたが、人と話し教えることは理解する1番の方法だと身をもって感じる事ができました。
終始、丁寧なご指導で、たいへん勉強になりました。
必要な情報でした。特に、指導経験の少ない方には良かったと思います。
講師陣の熱の入った講義であつという間に時間が経ってしまいました。とても良かったです。
いつも有意義な講習会です
毎回同じと言う言葉もありましたが毎回新鮮な気持ちで聞けます。来るたびに忘れてはいけないが忘れてしまっているものの再確認できました。
本日はありがとうございました。日々の生活の中で忘れかけていることを再び確認することができました。
丁寧でわかりやすい講習でした。ありがとうございます。
とても勉強になりました。忘れていたことや解らなかったことなどがありました。今後も勉強していけたらと思います。
とてもわかりやすく勉強になりました。
柔道家としての自覚や心構えを再認識することが出来、非常の充実した時間でした。柔道を始めようとするきっかけ作りの具体的な内容などの方法も教えていただけると助かります。
とても分かりやすくご指導をいただき、今後の指導に役立てていきたいと思ひます。特に安全確保の重要さ、基本動作の大切さ、その発達段階に応じた指導の大切さを改めて感じ、明日からの指導に、より意識を持って指導していきたいと思ひます。柔道の本質を聴けて良かったです。
指導者の学習をするとともに、自分自身が初心にかえって基本動作などもすることで、ますます柔道の奥深さを実感しました。
今一度、柔道指導について考える機会が出来て良かった。今後活かしていきます。
大変勉強になりありがとうございました。
大変ありがたい講義でしたが、やはり色々な指導者の話を聴けたらと思います。
柔道及び柔道指導の初心に還ることが出来ました。年齢も60を過ぎましたが、これからも柔道指導者として頑張っていきたいと思ひます。田中先生・高橋先生これからも宜しくお願ひいたします。
毎回、少年柔道指導となっているが、シニアや社会人への指導要領はいかがですか。少年柔道を指導できれば良好ではなく、ジュニア・シニア等の指導内容はどうかあるべきか、又、専門的に指導するにはどうするか。講道館指導部で実施している形講習会や指導者講習会を合わせて、今後どうあるべきか！ 宜しくお願ひいたします。
先生方の熱意が素晴らしかった。
会社でも役立つ講習会だと思ひました。良かったです。
講師の先生方、生徒さんも大変お疲れ様でした。
人数制限がある場合は、23区と多摩地区別に講習会の実施を検討して欲しい。
素晴らしい講義でした。
指導者としての心構えを再確認できました。

柔道の指導から離れているため非常に勉強になりました。改めて、継続的に勉強していかなければ指導はできないことを痛感しました。ありがとうございました。
これまで数回、更新講習会に参加しているが、毎回、指導に対する心構え改めさせられる内容だと思う。印象に残ったことを子供たちに還元していこうと思う。
リモートでの講習会を検討していただきたい。
講習会であれば机・椅子は用意いただきたい。メモも取れない。
膝・腰が悪いので畳の上で使用できる椅子を用意していただければ幸いです。
安全や救急方を重点にして欲しい
講習会の実施回数を増やしてほしい
このままで、よろしいかと思えます。
ちょうど良いポイントの取り方が出来る講習会を行なってほしい。
今回の講習会のように100名程度の参加の方が講義に集中しやすいです。
どのような手順でCからB指導員に上げられるのかなどを、ホームページなどで確認できるようにして頂きたいです。例えば私の場合、「C指導員資格取得後2年以上、継続的に指導に関わっている」を満たしておりますが、業務・コロナ等で資格更新ができず失効してしまい、最短ルートでどのようにしたらBが取得できるのか分かると助かります。
①新情報の発信をしてもらいたい。②人数が制限されるようであれば、椅子の用意されるといい。短時間の講習であれば、問題はないと思います。
内容的に素晴らしかったのもっと頻繁に開催して多くの指導者に受講して欲しいと思えます。
しつこいけど基本を繰り返してください
各道場やクラブでの練習の工夫や困り感を共有できる場があっても良いかと思えます。また、近年では発達障害等の課題があるお子さんもいるため、障害特性への理解についても学ぶ機会があると良いのではないのでしょうか。
指導をするうえで技術指導もそうですが怪我をしないトレーニング方法とかしりたいです。
データや論文の引用元がもっと詳しく記されているとありがたく存じます。
1日4コマで4ポイント。10ポイントなければ更新にならないのは4年間の間に3回受講しなければならない。3回受講するとポイントは12ポイントになります。この方法であれば、どこかで2コマの講習をしても良いと思えます。更新に必要なポイント数に合う形での講習会を検討して欲しい。
椅子が必要。畳に座ったり立ったりはキツイ。座学と実習を別の場所で実施し移動しても良いと思う。
中学校ではなく、道場クラブ、特に小学生までを指導されている指導者講習会を望む。
海外での指導方法を具体的に紹介してほしい。
訴訟事例についても具体的にあげてほしい。
有効期間をもう少し長くしていただきたい。
この様な講習会の実施回数を増やして欲しい。

6) 最後に、柔道の普及のために必要な活動は何だとお考えですか

全柔連としての普及の仕方の考えを示してほしい。
指導者を大切にしないこの様なやり方だと競技人口は増え無い。底辺で頑張っている指導者を大切にしたい。
現実的な広報活動
口伝えでの活動
高校選手権等のTV放送などのメディア等を使ったアピール。また、地域の学校やスポーツ施設等への案内。
志道館の様な学童を組み合わせた様な道場経営を広めて行くこと。
柔道教室や現役選手との交流を増やして柔道を知ってもらう。
勝たないと指導者は評価されないという勘違いをしている方がまだまだ多いので、指導者・保護者の意識対策でも動いて頂けると普及が進むと思います。
「試合」のみではなく、教育、健全な身体を重要視し、老若男女を生涯できる環境の整備する必要がある。連盟としては、新しい情報(研究成果を含む)の発信、可能であれば、加盟されている道場や指導者へのサポートの強化する。
危険な事もあるのである程度は厳しさは必要ですがいつもしかめっ面でどなっている指導者がはびこっている間は今以上に普及するとは思えませんので指導者の改革が必要だと思います。
思い当たらない
人間教育
大小関わらず大会をたくさんやるのが選手たちのモチベーションになり普及すると感じます
体育学部、武道学科、柔道整復師の若い方々に協力してもらい、武道必修授業を活かす。
頭部を打たないための道具や畳の開発
子供向けの柔道競技に関する宣伝活動
今まで通り、柔道の魅力を伝え続けるのはもちろん、今の時代に合わせ、SNS（Facebook、インスタグラム、ティックトック等）を活用し発信する。柔道の楽しさや安全性を伝え続ける。
学校教育の中に「自分の身体は自分で守る」をテーマに、柔道家が護身術などを教え、柔道に興味を持たせる。
柔道は安全な競技で心身ともに鍛えることが出来るということを伝えていく。
中学校における柔道部の充実が必要かと思う。柔道部の存続のためにも部員の確保が重要で、小学校の高学年時に柔道に興味を持ってもらうことが大切かと思います。小学校高学年時の柔道に関するイベント等があると良いかと思います。また、保護者に対しても、柔道の安全性の理解も重要になってくると思います。現在、柔道部のない中学校が増えているのが気になります。小学校高学年の生徒に柔道と係わるイベントがあると良いと思います。
柔道の講習会（礼法）をし、練習だけではなく、マナー・礼法・道徳の講義をし、社会に対して柔道の本質を広める。
まずは柔道知らない人に柔道を知ってもらう活動が必要であると考えます。
強化選手、スタッフたちが全国の幼稚園、小学校、中学校を回り、魅力の講演、実演等の広報活動を積極的に行っていただきたい。柔道教室では意味が感じられない。
柔道はしっかりしている指導者がしっかりした指導をすれば、決して、危険な競技ではなく「安全」で、人間として成長できることをもっとアピールしていく必要があると思います。
軟式柔道のように、安全な柔道について一般に伝える活動。
ダイエットボクシングのように「武道」としてのカッコよさと女性でも親しみやすい練習環境の提供。
オリンピックイヤーは初心者が入会が多いように思います。選手の活躍が普及に大いに役立っていると思います。
やはり生涯柔道という考え方は重要だと思う。子供に学ばせたいと思うスポーツは多様化しているのだから、生涯を通じた柔道、あるいは大人になってからの柔道を支援していくことこそ、柔道の普及である。
小学生の勧誘や地方巡業などのキャンペーン活動
少年柔道の普及のため、町道場を増やす、他競技、スポーツジムとの協力。
メディア・YouTube・SNS・タレント

企業内、社会の中に柔道の理解者を得ることが重要であり、仕事でも、やはり柔道をしている人はすごいと言われる指導者になりたいと思います。柔道も仕事も全力で行うことが重要です。

ウルフ君が頑張ってくれていますね。強くて優しくて、おもしろい柔道家がメディアに出るのは大変心強い宣伝効果と感じます。

練習に限る

指導者をレベルアップ（点）を増やして、面として広げていくことだと思います。

指導者の確保。安全的な面にも指導的な面にも、事故等の発生においても複数いる方が安心。

地道な勧誘、声掛け。初心者向けの柔道教室の実施。

小さな子供に体験できる場を与えること。

学生・実業団の試合をゴールデンタイムに放送してはどうでしょうか。PRが足りないように思われます。